

東日本大震災・令和6年能登半島地震等における 令和6年度東京都支援活動報告書

～復旧・復興に向けて～



令和7年3月



東京都

はじめに

東日本大震災から14年が経過しました。都は、発災後直ちに、警察・消防職員、医療救護班や保健師、応急給水のチームをはじめ、人命の救出救助、医療、施設の応急復旧、避難所運営など、あらゆる業務を担う多くの職員を派遣しました。本格的な復旧・復興に移行した後も、被災地のニーズを踏まえつつ、職員を継続して派遣してきました。

被災3県のうち、岩手県・宮城県は、インフラ整備が概ね完了するなど、復興の進展に伴い、派遣が終了していますが、福島県では、復興・再生が本格化するところであり、住民帰還に向けた環境整備、風評・風化対策、産業振興など、現在においても9名の職員を派遣しています。

また、令和6年1月に発生した能登半島地震についても、都は、発災直後から、避難所運営や水道・下水道の応急復旧等に多くの職員を派遣してきました。

特に、道路や河川などのインフラ復旧に向けた、被災地における技術系職員への強いニーズに対して、都は、現役職員に加えて、豊富な知識・経験を持つ行政経験者や民間経験者を一般任期付職員として採用・派遣しています。

令和6年度は、石川県、富山県及び輪島市に21名^(※)（うち、任期付4名）の職員を派遣しています。

また、令和6年7月の大雨で被害を受けた山形県にも2名^(※)の職員を派遣しています。

本書は、この1年間被災地で様々な復興事業に従事した派遣職員の業務の内容や成果に加え、直面した困難を乗り越えるための苦労や工夫、業務を通じて得られた知識や教訓等多岐にわたり、示唆に富むものとなっています。

本書を通じ、大規模災害や都の被災地支援の取組について理解を深め、日頃から災害について考え、備えるきっかけとして御活用いただければ幸いです。

令和7年3月

総務局復興支援対策部

(※) 令和6年12月末現在

本報告書は、原則として、派遣職員が被災地支援の業務を通じて直に体験し、考えたことに基づいて作成しています。

INDEX 目 次

第 1 部 職員派遣（東日本大震災・原子力災害）

事務系職員	復興計画等	福島県	企画調整部企画調整課	三 村 赳 史	6
		福島県	避難地域復興局避難地域復興課	石 走 聡 子	10
				旭 雄 平	14
	避難者支援	福島県	避難地域復興局避難者支援課	押 田 翔 吾	17
	遺児孤児支援等	福島県	こども未来局こども・青少年政策課	川 島 瑞 貴	21
産業振興・風評対策等		福島県	商工労働部経営金融課	平 野 勝 長	26
		福島県	商工労働部次世代産業課	大 堀 彰 華	30
		福島県	農林水産部農産物流通課	宮 脇 崇 行	34
				村 上 翔	38

第 2 部 職員派遣（令和 6 年能登半島地震等）

技術系職員	道路の復旧整備等	輪島市	輪島市建設部土木課	小 竹 祥 午	42
				水 野 有 矩	45
				井 下 隼	48
				硯 川 喬 也	52
				小 林 裕 一	55
	下水道事業	輪島市	輪島市役所上下水道局	高 山 章 大	56
				澤 田 貴 矢	60
	水道事業	輪島市	輪島市役所上下水道局	五 十 嵐 基 文	65
漁港の復旧整備等		石川県	農林水産部水産課	西 澤 元 良	68
				高 瀬 陽 彦	71
				花 谷 有 亮	74
道路の復旧整備等		石川県	中能登土木総合事務所維持管理課	堀 井 亮 輔	77
				又 吉 彩 乃	81
		石川県	奥能登土木総合事務所分室維持管理課	志 満 孝 市	83
河川の復旧整備等		石川県	中能登土木総合事務所河川砂防課	牧 浩 隆	89
				西 江 光 司	93
				五 十 嵐 拓 也	96
				青 木 茂 樹	99
				田 斎 裕 久	102
				川 井 一 司	103
				天 野 篤	106
砂防施設の復旧整備等		石川県	奥能登土木総合事務所分室地域整備課	石 川 勇 三	109
県施設の復旧整備等		石川県	土木部営繕課	須 藤 大 智	113
				小 島 重 則	117
				日 高 光 麻	120

技術系職員	応急仮設住宅の整備	石川県	土木部建築住宅課	菅 野 和 太 郎	123
				新 国 晃 弘	128
				宮 崎 裕 ノ 介	131
				大 武 奈 穂 子	134
		石川県	土木部建築住宅課	中 野 海 里	137
				植 田 剛 大	141
				柴 剛 勇	146
事務系職員	被災者支援	石川県	能登半島地震復旧・復興推進部 生活再建支援課	吉 田 朱 美 玲	149
	産業再生等	石川県	商工労働部経営支援課	松 浦 一 憲	152
				北 月 乃	156
	公費解体	石川県	生活環境部資源循環推進課	北 澤 健 太 郎	158
				佐 藤 仁 康	161
	災害ボランティアの派遣等	石川県	生活環境部女性活躍・県民協働課	鶴 見 真 二	165
				蛭 名 瑛 大	171
	高齢者福祉等	石川県	健康福祉部長寿社会課	吉 成 岳	174
技術系職員	液状化対策	富山県	土木部建築住宅課	石 井 威	177
				藤 本 一 真	179
				秦 雅 通	183

第3部 職員派遣（令和6年7月25日からの大雨）

技術系職員	河川・砂防施設の復旧整備等	山形県	最上総合支庁建設部河川砂防課 災害支援室	牧 浩 隆	190
				荒 井 創 汰	194
				岡 田 由 洋	197
	林道施設の復旧整備等	山形県	最上総合支庁産業経済部森林整備課	中 泉 堯	199
				矢 作 将 之	203

第4部 現地事務所等

東京都被災地支援福島県事務所	岡 本 聡	206
	川 崎 邦 昭	213
東京都総務局復興支援対策部被災地支援課	武 笠 龍 彦	220

表紙について



道路災害査定（石川県輪島市）



福島第一原子力発電所の現状（令和6年6月）



輪島塗



今なお残る避難指示区域（福島県双葉町）



相馬野馬追（福島県南相馬市、令和6年5月）



災害廃棄物処理（石川県）



福島市信夫山からの夜景



都営交通の燃料電池バス

「さあ、福島から水素で未来を紡ごう」
というメッセージとともに、浪江町のこどもたちが描いたデザインがラッピングされている。



小沢の一本桜（白河市）



能登前寿司（石川県七尾市）